

平成22年度 千曲川河川事務所 事業の概要について

【事業概要のポイント】

① こまき古牧地区で みずぼうさい水防災事業の完成

【古牧地区輪中堤防の完成】

中野市古牧地区は、昭和58年、平成16年、18年の出水により、度重なる浸水被害が発生している箇所です。連続堤方式の河川改修が実施されるまでには、相当期間を要するため、経済的かつ治水効果の早期発現ができる「輪中堤方式」により事業を完成させます。

② たてがはな立ヶ花下流無堤地区対策の推進

【かえさ替佐地区JR橋梁改築着手 ・ かさくら笠倉地区の新規事業着手 ・ いわいたがみ岩井田上地区の新規事業着手】

昭和57年・58年、平成16年・18年等の相次ぐ水害により、浸水被害が生じた無堤地区（替佐地区、笠倉地区、岩井田上地区）において築堤事業を推進し、治水安全度の向上を図ります。立ヶ花下流部無堤地区において、唯一事業着手していなかった笠倉地区に新規着手します。

【 問い合わせ先 】

国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

副所長(技) 石川 俊之

調査課長 渡邊 昌彦

電話 026-227-7611（代表）

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

1 千曲川河川事務所の事業方針

千曲川・犀川は地域の大切な宝であることを常に意識し、治水安全度の低さや豊かな河川環境、川に対するふるさとの想いを念頭に置き、地域と連携しながら以下の方針で事業を進めます。

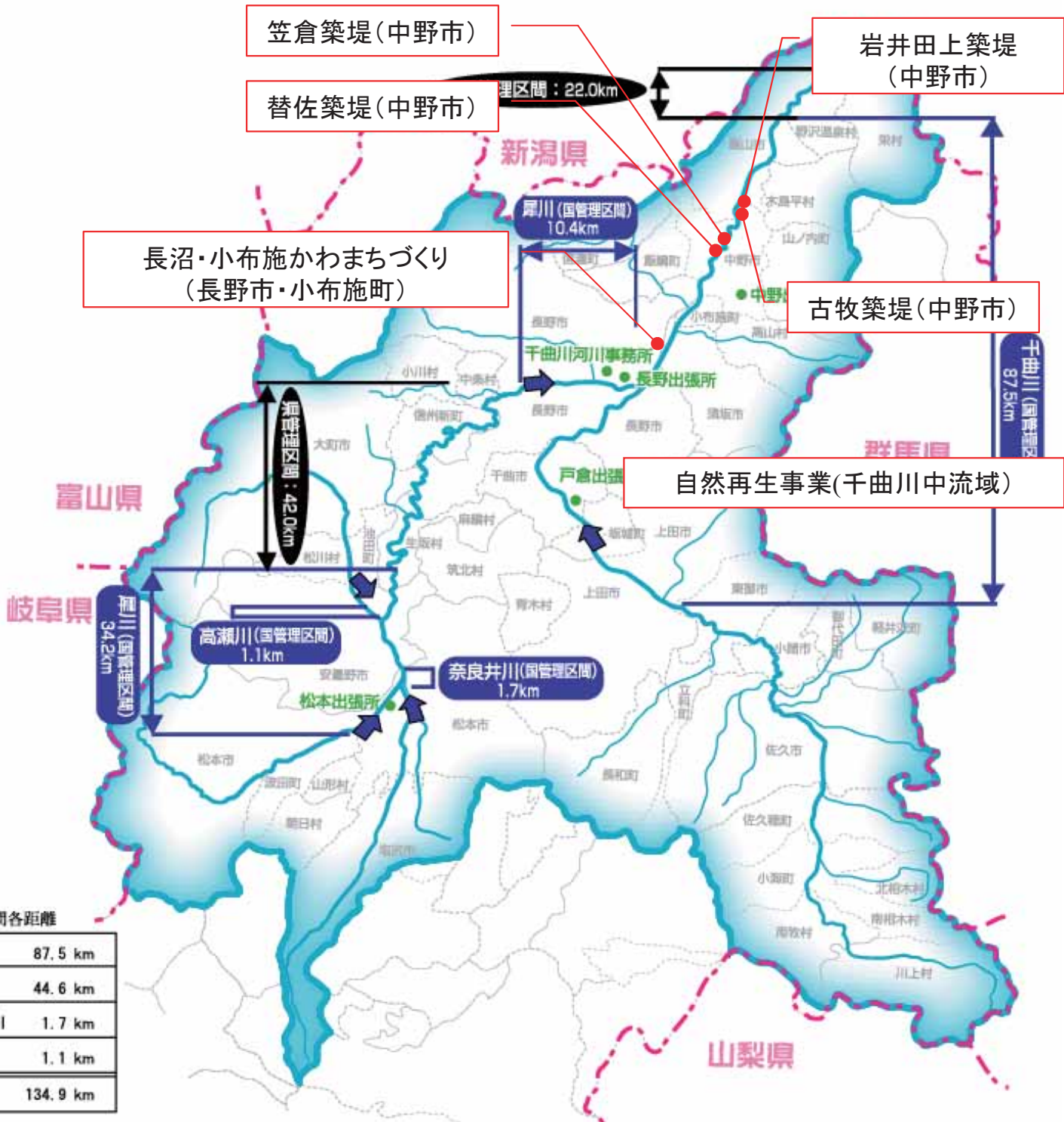
- ◆人々の生命・財産を災害から守るために全力を尽くす。
- ◆千曲川・犀川の自然環境を大切にし、詩情豊かで潤いのある川づくりを推進する。
- ◆河川の整備と管理を通じ、活力ある地域づくりの実現に貢献する。

2 平成22年度 当初予算の概要

河川改修事業 (一般河川改修事業)	810百万円	千曲川・犀川流域内に生活する人々の生命や財産を洪水等の被害から守ることを目的として、無堤地区の解消(再度災害の防止)や治水安全度向上(現況堤防の強化)等を重点課題とした河川改修事業を展開していきます。	・替佐地区(中野市)
			・笠倉地区(中野市)
			・岩井田上地区(中野市)
土地利用一体型水防事業	181百万円	経済的かつ治水効果の早期発現ができる「輪中堤方式」により事業を実施します。	・古牧地区(中野市)
総合水系環境整備事業	192百万円	良好な河川環境を復元するための自然再生事業を千曲川中流域において実施します。 また、良好な水辺空間を創出するために長沼・小布施かわまちづくりの整備を推進します。	・自然再生(千曲川中流域)
			・長沼小布施かわまちづくり (長野市・小布施町)
河川維持・河川管理施設更新事業	1,040百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・河川環境に留意し、河道内で支障となっている樹木について、計画的な伐採を行います。 ・堤防、護岸や河川施設が洪水時に正常に機能するよう、定期的に点検整備を行います。 ・河川パトロールカー及び排水ポンプ等災害対策用機械の点検整備を行います。 	・河道内樹木伐採(管内)
			・堤防除草、河川パトロール等(管内)
			・水閘門点検整備(管内)
合計	2,223百万円		平成21年度当初予算 2,305百万円
			対前年度比 0.964

※業務取扱費を除く

3 平成22年度 実施予定箇所 位置図



①河川改修事業(一般改修事業)

【替佐^{かえさ}築堤(中野市)】

1)事業の目的

中野市替佐地区は、昭和57・58年、平成16・18年と出水により多数の浸水被害が発生している無堤箇所であり、千曲川本川及び斑尾川のバック影響区間までの築堤を行い治水安全度の向上を図ります。

2)全体計画

築堤延長L=1,900m

3)事業の経緯

平成10年度 着手

平成19年度 JR橋梁下流部 完成

平成22年度 JR橋梁改築 着手



4)平成22年度事業の内容

JR橋梁改築に向けた仮設工等を実施



▲替佐地区(平成18年7月豪雨)

①河川改修事業(一般改修事業)

【^{かさくら}笠倉築堤(中野市)】 新規事業着手

1)事業の目的

中野市笠倉地区は、背後地に家屋が連なる無堤地区のうち、事業に着手していない唯一の地区であり、浸水被害を防止するため築堤事業に新規着手します。

2)全体計画

築堤延長L=540m

3)事業の経緯

平成22年度 事業着手

4)平成22年度事業の内容

用地補償、樋門工事、護岸工事等を実施



①河川改修事業(一般改修事業)

いわいたがみ

【岩井田上築堤(中野市)】新規事業着手

1)事業の目的

中野市岩井田上地区は、堤防高及び断面ともに不足する暫定堤防であり、浸水に対する安全度が不足する箇所です。暫定堤防の完成堤防化とあわせて、兼用工作物である県道の付替を実施し、治水安全度の向上を図ります。

2)全体計画

築堤延長L=2,950m(完成堤防)

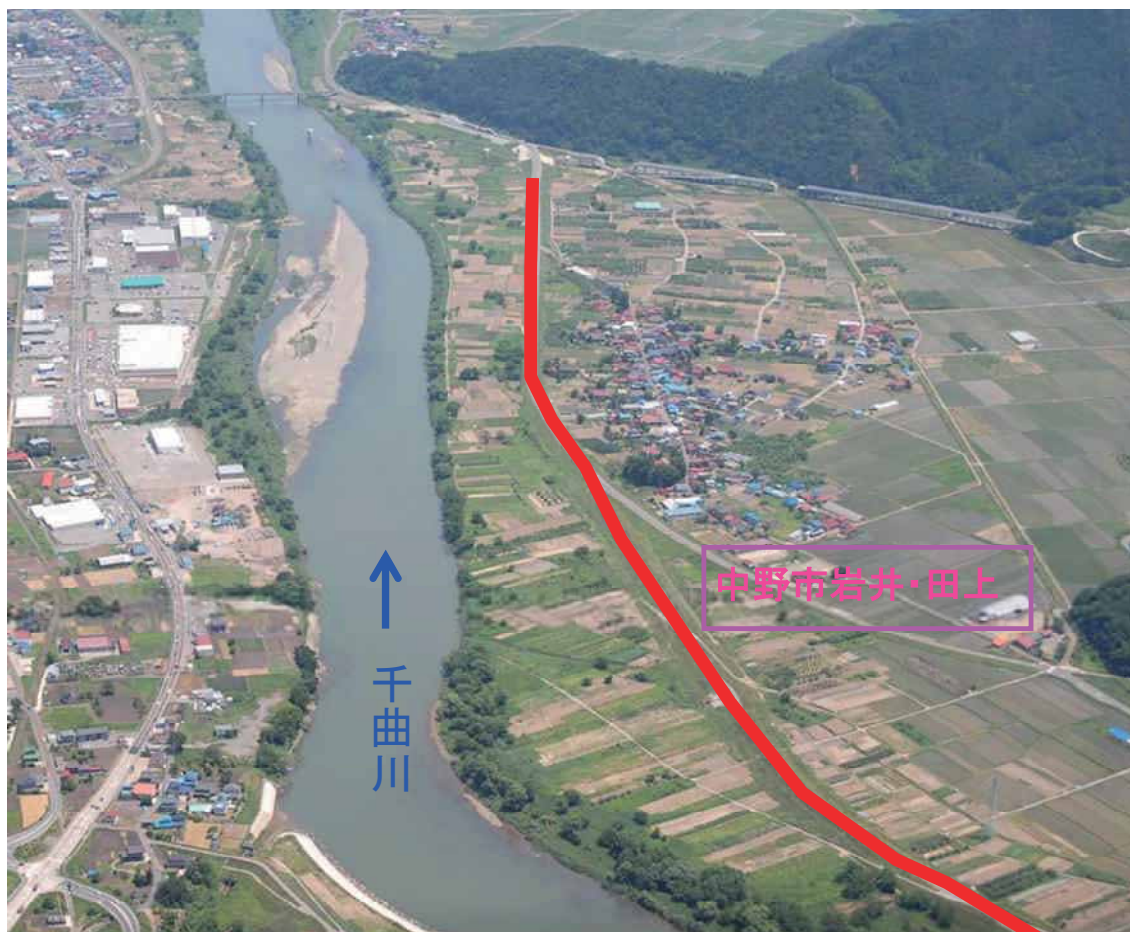
県道付替L=1,300m

3)事業の経緯

平成22年度 着手

4)平成22年度事業の内容

用地補償等を実施



▲岩井田上地区

②土地利用一体型水防災事業

こまき

【古牧築堤(中野市)】 事業完成

1) 事業の目的

中野市古牧地区は、昭和57・58年、平成16・18年の出水により、床上床下浸水被害が発生している無堤箇所であることから、同規模の洪水を流すことを目的として、無堤地区対策を計画的に実施しています。

当該地区は、連続堤方式の河川改修が実施されるまでには、相当期間を要するため、経済的かつ治水効果の早期発現ができる「輪中堤方式」により事業を実施するものです。

2) 全体計画

築堤延長L=670m(暫定堤防)

3) 事業の経緯

平成20年度 新規事業採択

平成22年度 完成予定

4) 平成22年度事業の内容

築堤工事等を実施し、輪中堤方式により事業を完成



▲古牧地区(平成18年7月豪雨)

③総合水系環境整備事業

- ・良好な河川環境復元のため千曲川中流域において自然再生事業を行います。
- ・良好な水辺空間を創出するため長沼・小布施かわまちづくり(桜づつみ)を推進します。



▲千曲川自然再生(戸倉地区)



工事前 アレチウリに覆われている

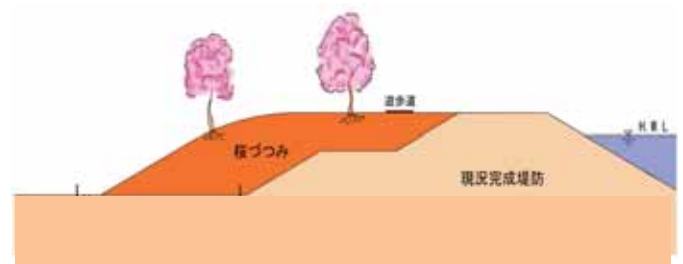


工事後3年 外来種の侵入はない

▲栗佐地区における事業実施状況



▲長沼・小布施かわまちづくり 完成イメージ



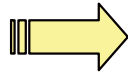
▲完成横断図

④河川維持・河川管理施設更新事業

- ・河川環境に留意し、河道内で支障となっている樹木について、計画的な伐採を行います。
- ・堤防、護岸や河川施設が洪水時に正常に機能するよう、定期的に点検整備を行います。



▲河道内樹木 伐採前



▲河道内樹木 伐採後



▲河川施設を定期的に点検



▲大型遠隔操縦式草刈り機による堤防除草